

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
みなみ花咲くまちづくり推進事業		みなみ花咲くまちづくり推進協議会			
事業目的	事業内容	活動指標	成 果		
			H29	H30	R1
南区の魅力である豊かな自然と人のつながりを活かし、花の植栽等の事業に取り組むことにより、南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみを創ることを目的とする。	(1)各校区内の遊休地等を活用したコミュニティガーデンを設置し、花を植栽する。 (2)花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪を広げるとともに、校区間の交流を図る。	ボランティア参加人数	19校区 ボランティア 合計数約300名	19校区 ボランティア 合計数約250名	19校区 ボランティア 合計数約250名
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	本事業は、区民自らが南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみをつくることで、住民相互の親睦と交流が深まるとともに、区民意識の醸成を図ることが出来る。魅力ある地域づくりの推進にあたっては、区民自らが自区に愛着と誇りを持つ必要があるため、行政が実施すべき事業である。	○	各校区では協議会の推進委員をリーダーにボランティアが活動を行っており、美しい魅力あるまちづくりを区民協働で推進している。	○	・平成21年7月「堺市環境活動表彰」受賞等の実績があり、南区をPRできる事業の一つとなっている。
④効率性		○	一部の校区では、行政等の類似事業(アドプト制度、パートナーシップ花壇、花いっぱいやさかい等)と連携し事業展開をしており、効率性が高いといえる。また、校区間交流を図る一環として、地域の小学生との花植え活動をしている校区もある。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	事業実施については、各校区とも主体的に地域の実情に応じた活動を行っているが、参加者の固定化やボランティア不足などにより、校区間で本事業の取り組みの格差もあり、現時点では自立発展性がやや低い。	○	推進委員を中心に、ボランティアが各小学校区にコミュニティガーデンを設置し、色彩豊かな美しいまちなみを創っている。こうした花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪が広がっているが、一方で、地域の高齢化によりコミュニティガーデンを継続実施できないところも見られる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	【課題など】 ○事業を継続するにあたり、地域の担い手の高齢化や、新たなボランティアの育成が必要。 ○校区間の取組に格差がある。 【今後の取組】 ○活動に際して連合自治会からの支援が最低限必要であることから、事業に対する認識を深めていく。				